

奈良文化女子短期大学 幼小連携ワーキンググループ合同研究会
第 32 回 議事録

1. 日 時： 平成 24 年 1 月 28 日（土） 11:00～13:00
2. 場 所： 奈良文化女子短期大学 本館 5 階(第 1 演習室)
3. 参加者： 27 名
4. 内 容：

(1) はじめに

①参加者 自己紹介

新規参加者： 邨橋雅弘（たちばな幼稚園）

山川律子（新町幼稚園）

倉田奈穂美（藤井寺北幼稚園）

田村 豊（NPO 法人ピープルアクティブライフ）

角田道代（奈良文化女子短期大学附属幼稚園）

川田百代（奈良文化女子短期大学附属幼稚園）

学生参加者:2 回生：松田輝子

1 回生：石丸美緒、小澤有沙、金本陽子、橋本彩香、山口由美子、若槻多恵

(2) 幼小連携資料及び実践から学ぶ

全国の幼小連携の実践資料等からミニ講演及び情報提供・情報交換

①□西宮市幼年研修会から報告（実践：西宮市立津門小学校北田教諭）

- ・年間実践計画
- ・実践内容Ⅰ「体育館であそぼう（6月）」幼稚園児・保育園児が小学校へふれあいながら遊びを中心にした交流
- ・実践内容Ⅱ「保育所へ行こう（10月）」小学生が保育所へオセロ、将棋、本の読み聞かせ等をする。
- ・実践内容Ⅲ「小学校訪問3月」

『小学校訪問』に向けての幼保小の意見交換から計画

【保育所からの声】

- ・模擬授業を受けさせたい
- ・1年生の授業を参観させたい
- ・イスに座る体験をさせたい

【幼稚園からの声】

- ・模擬授業を受けさせたい
- ・入学に期待が持てる機会にしたい
- ・1年生と遊具で一緒に遊ばせたい

【小学校からの声】

- ・小学校入学当初の授業を体験させたい

②「入学後はじめての7つの課題」 奈良文化女子短期大学 善野八千子教授

*「シリーズ①～⑦今回は、「文字を書く（学習上の自立）」

書きたい文字から書ける文字へ。シリーズ③

- ・前回までの復習・目的意識をもって話し合う。
- ・今回は、「文字を書く」 文字遊びから文字の習得へ
- ・幼稚園教育要領における文字への関心及び環境構成と教材を提示。
いつ、どのように、だれが、何を、どのように（筆圧、筆順、姿勢、持ち方、書き順、鏡文字等）指導をするか
遊びを通して、文字への関心を喚起する。
- ・個々の育ちの把握と援助・指導タイミングが重要。修正でなく子どもに合わせ

て無理のない指導をする。入学前に「自分の名前が書ける」という意味。

(3) 接続カリキュラム2月～3月作成版の改訂及び週案作成

◆就学前カリキュラム改訂作業のためのフォーマットの活用

◆幼小混合グループでのワークショップ

今回は、「1日入学体験」「遊び・制作活動」に分かれて、『就学前第3週』週案について、活動カテゴリーを軸として、幼小混合の2グループに分かれて協議した。

週案レベルの具体案の検討を重ね、“子どもの姿が見える”カリキュラムの作成。

<第一グループ>「1日入学体験」

- ・就学前の幼児の実態として、「学校で早く勉強がしたい」という願いをもっている。
- ・文字への関心から絵本づくりを始める子どももいる。
- ・「読む」ことから絵本づくり、紙芝居等へ発展していく。
- ・幼小連携は、組織として継続するためには、管理職の役割が非常に大きい。
- ・保育所から小学校に連携を申し出る手続きは、行政的なものではなく、子どもの入学先や可能な相手校を選択して、主体的に働き掛けていく。
- ・公立園と小学校同士などの制約は、不要であり、幼保
- ・体験入学の時期や活動内容など、幼稚園から小学校に具体的に伝えていくことが必要。
- ・子どもの交流の前に、まず教職員の交流から始めたい。
- ・幼児教育施設側から「幼稚園のお散歩コースに『小学校の校庭』を入れさせてください」など自然な申し入れをして、連携を進める入口にすることもよい。
- ・校庭や遊具で園児が活動しているうちに、入学前の期待がふくらんだり、不安をキャッチしたりすることも可能となる。
- ・連携が進んでいる幼小施設では、改めて子どもや教職員同士の願いや実態把握から体験入学の活動の見直しが図ることができる。

<第二グループ>「遊び・制作活動」

- ・就学前のこの時期の活動例の情報交換から（特に、文字への関心・意欲を引き出す活動）
- ・自分の名前が出てくる文字をカルタに親子で書き、保護者参観に保護者と共にカルタとり。
- ・絵本づくりを始める子どももいる。絵本に自分の名前を書く。文字を読むことから絵本づくり、紙芝居等に発展・「ゆうびんやさんごっこ」遊び・メッセージカードづくり・文集づくり・お礼のお手紙書き
- ・小学校で図工に取り組んだ時、かなりの個人差がある。
- ・チューリップの書き方練習を家庭でさせられていて、それ以外は描けない子どもの例
- ・クレパスを塗りこむ力の弱さ（筆圧に通じる）や片隅にしか描けない子どもの例
- ・入学後の練習のためでなく、幼児教育施設で獲得したことや自信を持ったことが出せるように、楽しんで絵を描いたり制作活動をしたりできるようにしておきたい。

【参加学生の感想】（一部抜粋）

◆今回も教育現場の先生方の子どもに対する熱い思いを肌で感じられました。

私は「入学前1日体験」のグループに入れて頂きました。この体験を保育園、幼稚園、小学校の1日だけのイベントとしてとらえるのではなく、生活科の授業の一環として扱うべきだ、という斬新なアイデアに驚きました。参加されている先生方は、いつも子どもにとっての一番の価値を考えて実践されていることを知りました。これからも参加して色々な保育、教育の仕方を教わりたいと思いました。

帰りに、岐阜県から参加されている先生とご一緒させて頂きました。私にはもったいない程のお褒めの言葉を頂きました。素直に頑張ろうと思いました。有り難うございました。

5. 次回の予定 平成24年2月18日（土） 11:00～12:30